



医学部現役合格ガイダンス

2024年4月～5月（90分）
医系専門予備校メディカルラボ
本部教務副統括 尾木 歩

©Medical Lab



医系専門予備校メディカルラボの授業は
全てプロ講師による1対1指導



年間を通じて担任が学習面・生活面をフォロー
寄り添いながら医学部合格までサポート

2024年度 合格速報

合格おめでとう

医学部医学科
最終合格者数

1,219名!!

※2024/4/15現在

まだまだ増える合格実績！ 続々と更新中！

▶合格実績一覧はこちら



©Medical Lab

2024年度 医学部医学科 合格実績

●国立大学 168

旭川医科2／**北海道3**／弘前4／**東北1**／秋田4／山形3／筑波6／群馬5／千葉5／**東京1**／東京医科
歯科5／新潟5／富山5／金沢2／福井5／山梨2／信州1／岐阜6／浜松医科15／**名古屋2**／三重5
／滋賀医科3／神戸3／鳥取3／島根2／岡山5／広島9／山口7／徳島7／香川3／愛媛8／高知5／
九州4／佐賀1／長崎4／熊本3／大分3／宮崎5／鹿児島4／琉球2

●公立大学 40

札幌医科1／福島県立医科3／横浜市立9／名古屋市立12／京都府立医科4／大阪公立5／奈良県立医
科3／和歌山県立医科3

●省庁大学 13

防衛医科13

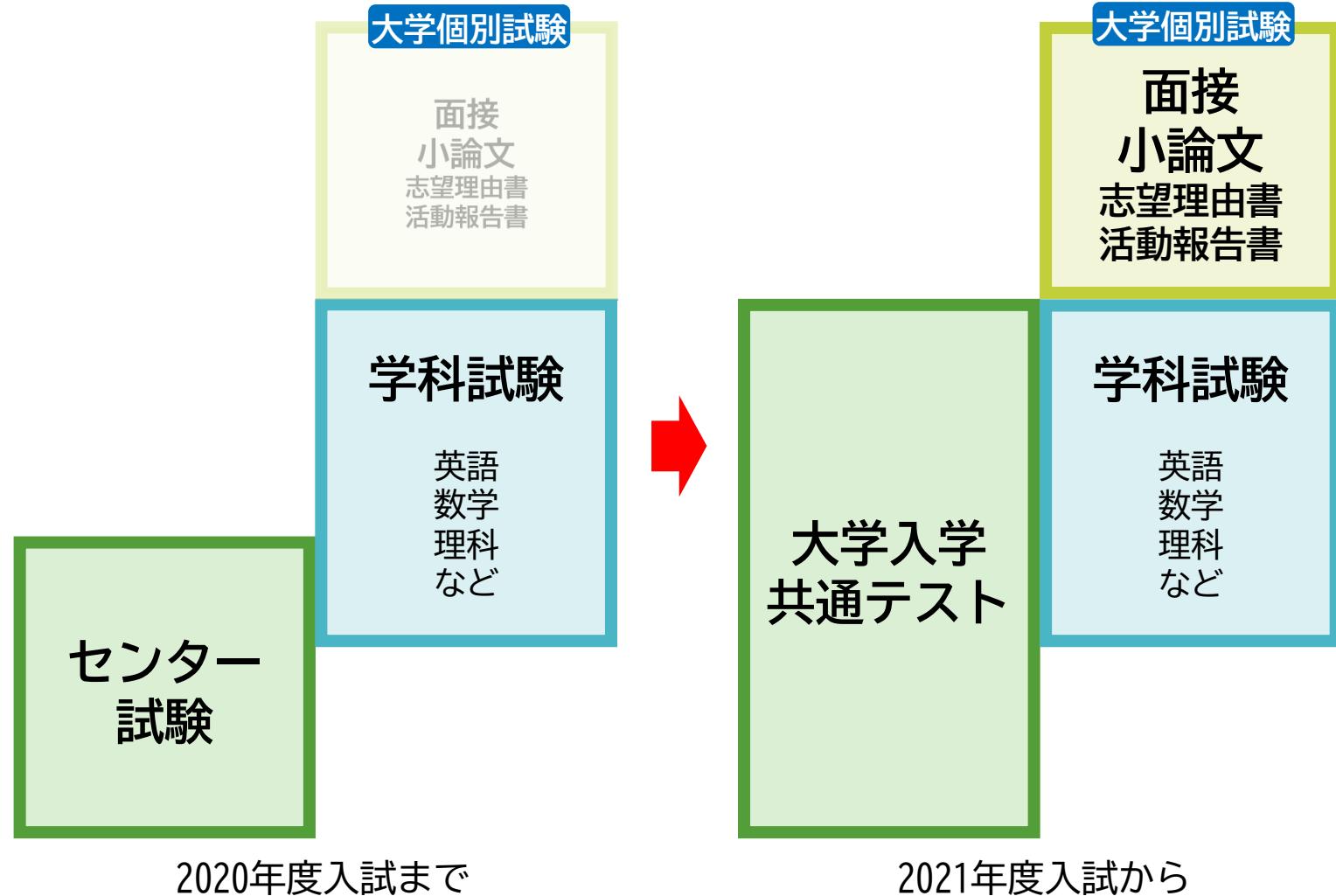
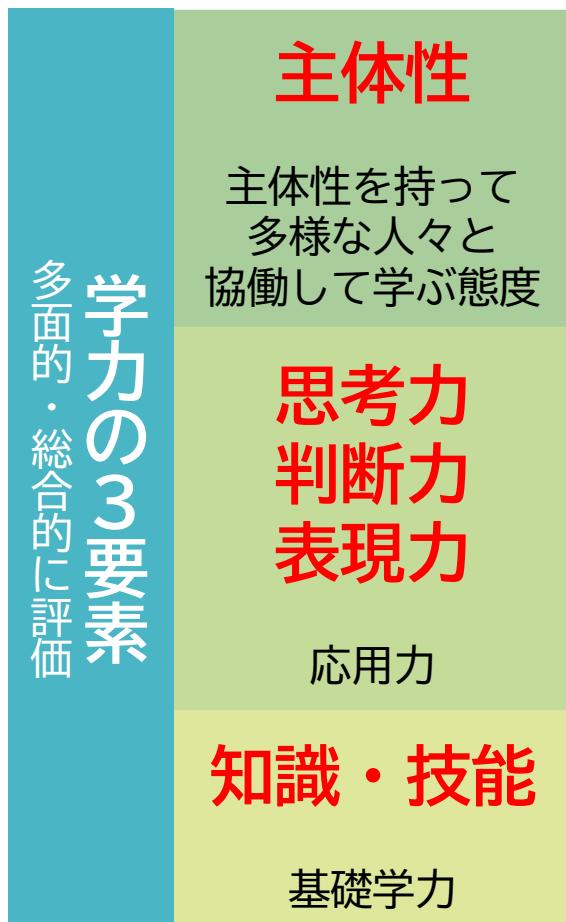
●私立 998

岩手医科42／東北医科薬科19／自治医科2／獨協医科38／埼玉医科13／国際医療福祉55／杏林
37／**慶應義塾5**／**順天堂26**／昭和21／帝京40／東京医科36／**東京慈恵会医科12**／東京女子医
科27／東邦42／日本26／**日本医科28**／北里56／聖マリアンナ医科33／東海41／金沢医科4
1／愛知医科67／藤田医科62／大阪医科薬科28／関西医科30／近畿36／兵庫医科41／川崎医
科31／久留米18／産業医科7／福岡38

1. 新課程共通テストと医学部入試への影響
2. 現在の医学部入試
3. 医学部現役合格に向けての学習
4. 志望理由・面接・小論文の準備

1. 新課程共通テストと医学部入試への影響

学力の3要素と大学入学共通テストの導入



新課程共通テスト

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの 問題作成方針に関する検討の方向性について

(1)大学入学志願者が高等学校教育の成果として身に付けた、**知識・技能や思考力・判断力・表現力等を問う問題作成**

大学で学修するために共通して必要となる、高等学校の段階において身に付けた基礎的な力を問う問題を作成する。特に、新学習指導要領において、「**主体的・対話的で深い学び**」を通して育成することとされている、**深い理解を伴った知識の質を問う問題や、知識や技能を活用し思考力・判断力・表現力等を發揮して解くことが求められる問題を重視する**。その際、**言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を、教科横断的に育成すること**とされていることについても留意する。

(2)各教科・科目の特質に応じた**学習の過程を重視した問題作成**

(1)に示した知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できるよう、出題科目の特質に応じた**学習の過程を重視**し、問題の構成や場面設定等を工夫する。例えば、**社会や日常の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面、考察したことを探求して表現しようとする場面などを設定することによって、探究的に学んだり協働的に課題に取り組んだりする過程を、問題作成に効果的に取り入れる**。

(3)多様な受験者の学力を適切に評価する試験問題の作成

(2)に示す問題作成の工夫を重視した上で、多様な受験者が十分に力を發揮し、(1)に示す知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できる問題となるよう、構成や内容、分量、表現等に配慮する。その際、これまで良質な問題作成を行う中で蓄積した知見や、試験問題の評価・分析の結果を問題作成に生かすようにする。

新課程共通テスト

～令和6年度入試

教科	科目	配点	試験時間
外国語	英語 (R)	100点	80分
	英語 (L)	100点	60分
数学	数学 I ・ A	100点	70分
	数学 II ・ B	100点	60分
国語	現代文	100点	80分
	古文	50点	
	漢文	50点	
理科	物理	100点 × 2科目	60分 × 2科目
	化学		
	生物		
地歴・公民	世界史B	100点 × 1科目	60分 × 1科目
	日本史B		
	地理B		
	倫理、政治・経済		
	現代社会		
	倫理		
	政治・経済		

5教科7科目、900点満点

～令和7年度入試～

教科	科目	配点	試験時間
外国語	英語 (R)	100点	80分
	英語 (L)	100点	60分
数学	数学 I ・ A	100点	70分
	数学 II ・ B ・ C	100点	70分
(近代以降の文章110点／古文45点／漢文45点)		200点	90分
理科	物理	100点 × 2科目	60分 × 2科目
	化学		
	生物		
地歴・公民	地理総合、地理探求	100点 × 1科目	60分 × 1科目
	歴史総合、世界史探求		
	歴史総合、日本史探求		
	地理総合、歴史総合、公共		
	公共、倫理		
	公共、政治・経済		
情報	情報 I	100点	60分

6教科8科目、1000点満点

新課程共通テスト【国語】

旧課程（～令和6年度）			
	分野	配点	試験時間
第1問	近代以降の文章	50点	80分
第2問	近代以降の文章	50点	
第3問	古典（古文）	50点	
第4問	古典（漢文）	50点	

新課程（令和7年度～）			
	分野	配点	試験時間
第1問	近代以降の文章	45点	90分
第2問	近代以降の文章	45点	
第3問	近代以降の文章	20点	
第4問	古典（古文）	45点	
第5問	古典（漢文）	45点	

- 大問が1題追加され、試験時間が90分に延長される。
- 追加される1題は近代以降の文章から出題され、配点は20点。
- 上記により他の大問4題は各45点に変更。
- 大問1題の追加に対し、10分の延長となるため、全体的に時間が不足する可能性あり。

新課程共通テスト【数学】

旧課程（～令和6年度）				
数学Ⅰ・A		分野	配点	試験時間
第1問	必答	数と式 図形と計量	30点	70分
第2問	必答	二次関数 データの分析	30点	
第3問	2問選択	場合の数と確率	20点	
第4問		整数の性質	20点	
第5問	図形の性質		20点	

新課程（令和7年度～）				
数学Ⅰ・A		分野	配点	試験時間
第1問	必答	数と式 図形と計量	30点	70分
第2問	必答	二次関数 データの分析	30点	
第3問	必答	図形の性質	20点	
第4問	必答	場合の数と確率	20点	

数学Ⅱ・B				
数学Ⅱ・B		分野	配点	試験時間
第1問	必答	三角関数 指数・対数関数	30点	60分
第2問	必答	微分法 積分法	30点	
第3問	2問選択	確率分布と統計的な推測	20点	
第4問		数列	20点	
第5問		ベクトル	20点	

数学Ⅱ・B・C				
数学Ⅱ・B・C		分野	配点	試験時間
第1問	必答	三角関数	15点	70分
第2問	必答	指数・対数関数	15点	
第3問	必答	微分・積分の考え方	22点	
第4問	3問選択	数列	16点	
第5問		統計的な推測	16点	
第6問		ベクトル	16点	
第7問		平面上の曲線と複素数平面	16点	

新課程共通テスト【地歴公民】

科目	配点	
A	地理総合	25点
B		25点
C	地理探求	75点
D	歴史総合	25点
E		25点
F	世界史探求	75点
G	日本史探求	75点
H	公共	25点
I		25点
J	倫理	75点
K	政治・経済	75点

共通テスト科目	組み合わせ	配点
地理総合、地理探求	A + C	100点
歴史総合、世界史探求	D + F	100点
歴史総合、日本史探求	E + G	100点
公共、倫理	H + J	100点
公共、政治・経済	H + K	100点
地理総合、歴史総合、公共		
地理総合、歴史総合	A + B + D + E	100点
地理総合、公共	A + B + H + I	100点
歴史総合、公共	D + E + H + I	100点

(医学部受験者は理系なので関係ないですが)

※2科目受験する場合、同一問題を含む科目は選択できない

新課程共通テスト【情報】

情報Ⅰ			
第1問 (20)	問1	必答	情報社会の問題解決
	問2		情報通信ネットワークとデータの活用
	問3		コンピュータとプログラミング
	問4		コミュニケーションと情報デザイン
第2問 (30)	A(15)	必答	情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン
	B(15)	必答	コンピュータとプログラミング
第3問(25)	必答	コンピュータとプログラミング	
第4問(25)	必答	情報通信ネットワークとデータの活用	

旧情報(仮)			
第1問 (35)	問1	必答	【社会と情報】(3)ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題 【情報の科学】(4)ウ 情報社会の発展と情報技術
	問2		【社会と情報】(2)イ 情報通信ネットワークの仕組み 【情報の科学】(1)イ 情報通信ネットワークの仕組み
	問3		【社会と情報】(1)イ 情報のデジタル化 【情報の科学】(1)ア コンピュータと情報の処理
	問4		【社会と情報】(2)イ 情報通信ネットワークの仕組み 【情報の科学】(1)イ 情報通信ネットワークの仕組み
	B (15)		【社会と情報】(1)イ 情報のデジタル化 【情報の科学】(1)ア コンピュータと情報の処理
第2問(15)		選択	【情報の科学】(2)ウ モデル化とシミュレーション
第3問(15)			【社会と情報】(3)ウ 情報社会における法と個人の責任
第4問(25)		必答	【社会と情報】(2)イ 情報通信ネットワークの仕組み (3)イ 情報セキュリティの確保 【情報の科学】(1)イ 情報通信ネットワークの仕組み (4)イ 情報社会の安全と情報技術
第5問(25)		選択	【情報の科学】(2)イ 問題の解決と処理手順の自動化
第6問(25)			【社会と情報】(4)ウ 情報社会における問題の解決

※同色塗りつぶしセルは新旧課程共通問題

「情報Ⅰ」配点など

2024年3月31日現在

大学	学科（方式等）	日程	教科・科目数	満点	情報Ⅰ配点	配点割合	理科指定	地歴・公民指定	その他
旭川医科	医	前	6-8	570	20	3.5%		地歴公×	
		後	6-8	620	20	3.2%		地歴公×	
札幌医科	医（一般枠）	前	6-8	750	50	6.7%		地歴公○	
	医（先進研修連携枠）	前	6-8	750	50	6.7%		地歴公○	
北海道	医	前	6-8	300	0	0.0%	個別：物	地歴公×	「情報Ⅰ」の受験は必須 成績同点者の順位決定に活用
弘前	医	前	6-8	1050	50	4.8%		地歴公○	
東北	医	前	6-8	550	50	9.1%		地歴公×	
秋田	医	前	6-8	600	50	8.3%		地歴公×	
	医（一般枠）	後	6-8	750	50	6.7%		地歴公×	
	医（秋田県地域枠）	後	6-8	500	50	10.0%		地歴公×	
山形	医	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
		後	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
福島県立医科	医	前	6-8	700	50	7.1%		地歴公×	
筑波	医	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公○	
群馬	医	前	6-8				個別：物化	地歴公×	
千葉	医（一般枠）	前	6-8	475	25	5.3%		地歴公○	
	医（千葉県地域枠）	前	6-8	475	25	5.3%		地歴公○	
	医（一般枠）	後	6-8	475	25	5.3%		地歴公○	
東京	—	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公×	共通テストは1000点を110点に換算
東京科学 (現・東京医科歯科)	医	前	6-8	180	18	10.0%		地歴公×	
		後	5-7	500	55.6	11.1%		なし	
横浜市立	医（一般枠）	前	6-8	1000	50	5.0%		地歴公○	
	医（地域医療枠）	前	6-8	1000	50	5.0%		地歴公○	
	医（神奈川県指定診療科枠）	前	6-8	1000	50	5.0%		地歴公○	

「情報Ⅰ」配点など

2024年3月31日現在

大学	学科（方式等）	日程	教科・科目数	満点	情報Ⅰ配点	配点割合	理科指定	地歴・公民指定	その他
新潟	医	前	6-8	800	50	6.3%		地歴公○	
富山	医	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公○	
金沢	医	前	6-8	950	50	5.3%	個別：物化	地歴公○	
福井	医	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公×	
		後	6-8	500	50	10.0%		地歴公×	
山梨	医	後	6-8	1000	100	10.0%		地歴公×	
信州	医	前	6-8	500	50	10.0%		地歴公○	
岐阜	医	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
浜松医科	医	前	6-8	475	25	5.3%		地歴公×	
		後	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
名古屋	医	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
		後	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
名古屋市立	医	前	6-8	600	50	8.3%	物化	地歴公○	
三重	医	前	6-8	650	50	7.7%		地歴公×	
		後	6-8	650	50	7.7%		地歴公×	
滋賀医科	医	前	6-8	650	50	7.7%		地歴公×	
京都	医	前	6-8	275	25	9.1%		地歴公×	
京都府立医科	医	前	6-8	500	50	10.0%		地歴公×	
大阪	医	前	6-8	500	25	5.0%		地歴公×	
大阪公立	医	前	6-8	675	25	3.7%		地歴公○	
神戸	医	前	6-8	380	20	5.3%		地歴公×	
奈良県立医科	医	前	6-8					地歴公×	
		後	6-8					地歴公×	
和歌山県立医科	医	前	6-8	600	50	8.3%		地歴公×	

「情報Ⅰ」配点など

2024年3月31日現在

大学	学科（方式等）	日程	教科・科目数	満点	情報Ⅰ配点	配点割合	理科指定	地歴・公民指定	その他
鳥取	医	前	6-8	920	20	2.2%		地歴公○	
島根	医	前	6-8	730	30	4.1%		地歴公×	
岡山	医	前	6-8	550	50	9.1%		地歴公×	
広島	医	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公×	
山口	医	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公○	
		後	6-8	950	50	5.3%		地歴公○	
徳島	医	前	6-8	900	0	0.0%		地歴公○	「情報Ⅰ」の受験は必須 総合判定の参考とする
香川	医	前	6-8					地歴公×	
愛媛	医	前	6-8	500	50	10.0%	個別：物化	地歴公○	
高知	医（一般枠）	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
	医（地域枠）	前	6-8	950	50	5.3%		地歴公×	
九州	医	前	6-8	475	25	5.3%	個別：物化	地歴公×	
佐賀	医	前	6-8	640	10	1.6%	物化	地歴公○	
		後	6-8	640	10	1.6%		地歴公○	
長崎	医	前	6-8	465	15	3.2%		地歴公○	
熊本	医	前	6-8	450	50	11.1%		地歴公×	
大分	医	前	6-8	500	50	10.0%		地歴公×	
宮崎	医	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公○	
		後	6-8	1000	100	10.0%		地歴公○	
鹿児島	医	前	6-8	925	25	2.7%		地歴公×	
		後	6-8	925	25	2.7%		地歴公×	
琉球	医	前	6-8	1000	100	10.0%		地歴公○	
		後	6-8	1100	100	9.1%		地歴公○	

新課程共通テスト まとめ

- 「情報Ⅰ」が追加され、**6教科8科目1000点満点**に。
- 国公立大学医学部では「情報Ⅰ」を概ね**点数化**。
- 「情報Ⅰ」は満点の**10%以下の傾斜配点**にしている大学が多いが、一部10%以上。
- 数学Ⅱ・B・Cの大問数が**4題から6題**に。試験時間も60分から**70分**に。
- 国語の近代以降の文章が1題追加され、大問**4題から5題**に。試験時間も80分から**90分**に。
- 地歴は「～探究」の配点が75点となり、**難化傾向**か？
- 日本史、世界史は「**歴史総合**」とセットとなるため、**負担増**。
- 旧課程履修者に対する経過措置が取られるのは、数学、地歴・公民、情報。
- 理科は経過措置を行わないが、旧課程履修者が選択可能な問題を出題する場合あり。
- 旧課程履修者は自分が「社会と情報」、「情報の科学」、どちらを履修したか要把握。

新課程共通テスト対策

基礎を固める

- 教科書レベルの知識
- 傍用問題集レベルの解法
- 丸暗記はNG
- 理解を伴う正確な知識
- 反復演習による定着
- 定義・定理・公式を重視
- 全科目・全単元
- 苦手を作らない

応用力を磨く

- 定義の説明
- 公式の導出
- 別解の習得
- 周辺知識の習得
- 問題文の整理・設問理解
- 資料の整理・活用
- 共通テスト模試の活用
- ミスを減らす工夫

得点力を高める

- 目標点設定（科目ごと）
- 共通テスト問題集
- 共通テスト過去問
- 苦手・弱点対策
- 時間配分
- 解答順序
- 体調管理

共通テスト目標点の設定

志望大学名	ボーダー得点率	目標得点率
	%	%

科目名	満点	目標点	換算点	克服課題
英語（リーディング）	100			
英語（リスニング）	100			
数学ⅠA	100			
数学ⅡBC	100			
国語	近代以降の文章	110		
	古文	45		
	漢文	45		
理科①（　　）	100			
理科②（　　）	100			
地歴公民（　　）	100			
情報I	100			
合計	1000			

医学部入試への影響 ~個別試験の難化~

～2024年度以降の国立大学の入学者選抜制度 国立大学協会の基本方針～

i) 高度な記述式試験の実施

国立大学としては、各大学がそれぞれのアドミッション・ポリシーに基づき作題し、全ての受験生に個別学力検査等で**論理的思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式試験を課すこととする。**ここでいう高度な記述式試験とは、例えば、**複数の素材を編集・操作し、自らの考えを立論し、さらにその過程を表現する能力を評価できる問題**であり、既に個別学力検査等において記述式試験を実施している大学にあっても、そのような能力をより適切に評価するため作問の改善を図る。教科・科目を含め、その具体的な内容・方法については、各大学・学部の主体的な判断に委ねられるが、各大学・学部が募集要項等において出題意図、求める能力等を明確にした上で受験生に課す。

新傾向の問題 昭和大学

2024年度 一般Ⅰ期 物理 大問1のB

物理現象を考察して説明する形式

水飲み鳥（下図のような玩具）の構造に関する簡単な説明が与えられており、水飲み鳥が動き続ける原理を物理的に考察して説明する。

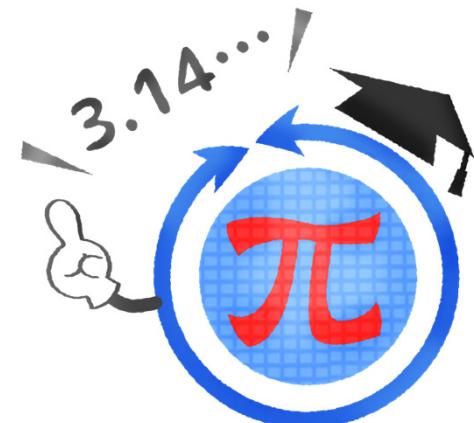


新傾向の問題 藤田医科大学

2024年度 ふじた未来（総合型選抜） 数学 大問2

定理や定義などの根本理解を問う問題

円周率の定義、弧度法における1ラジアンの定義を問われた。
また度数法と弧度法との関係性の理解も問われている。



新傾向の問題 関西医科大学 2024年度 一般前期 英語 大問Ⅲ

グラフを参照して解答する自由英作文問題

1940年から2010年までの日本の年齢別人口構成と2060年までの予測を示すグラフが与えられており、そのグラフを参照しながら、設問に英語で解答する。

新傾向の問題 関西医科大学 2024年度 一般前期 数学 大問Ⅱ

新課程「情報Ⅰ」を意識した（？）問題

「情報Ⅰ」で学ぶ2進法や補数の概念が感じられる問題。

問題文をよく読んで正しく理解する読解力や題意の理解を基に解き進めていく思考力を要する問題。



新傾向の問題 千葉大学 2023年度 一般前期日程 生物 大問1

生徒と教師の会話を読んで、問い合わせに答える形式

新型コロナウイルスのワクチン接種やPCR検査を話題とした会話の中で、ウイルスや免疫反応、RNA、DNA、サンガ一法、ヒトゲノムなどに触れている。

新傾向の問題 浜松医科大学 2023年度 一般前期日程 化学 大問3

先生と生徒の実験室での会話を読んで、問い合わせに答える形式

組成式が同じ2つのアルコールAとBを用いた実験に関する会話の中で生成される化合物C～Gについて考察し、化学反応式を答えたり、構造を決定したりする。

新傾向の問題 香川大学 2023年度 一般前期日程 英語 大問3

グラフを参照して解答する自由英作文問題

国別の年間平均労働時間のグラフが与えられており、そのグラフを参照しながら、2つの英問に対し、英語で解答する。

新傾向の問題 鳥取大学 2022年度 一般前期日程 物理 大問3

日常的な場面に即した問題設定

自動車の追突事故の調査で、ドライブレコーダーの記録とクラクションの音を頼りに、波動の知識を用いて事故直前の自動車の速度を割り出す。

医学部入試への影響 ~個別試験の難化~

- 医学部の個別試験において、大学入試改革を意識した問題が増加傾向。
- 「思考力・判断力・表現力」を必要とする問題の増加。
- 会話文や資料など、問題文量が増加。
- 日常生活、社会生活における実際の場面を想定した設問設定。
- 問題集に掲載される典型問題とは異なる出題形式。
- 問われている内容を短時間に正確に理解する速読力・読解力。
- 習得した知識や技能を活用する応用力。



受験予定大学の出題傾向把握と対策が重要

2. 現在の医学部入試

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
92%	東京72.5
90%	東京医科歯科70.0／京都72.5
89%	大阪70.0
88%	神戸67.5
87%	千葉（一般）67.5／名古屋（一般・地域）67.5／大阪公立（一般・地域）65.0／九州67.5
86%	東北67.5／横浜市立（一般・地域・指定）67.5／奈良県立医科
85%	北海道65.0／千葉（地域）67.5
84%	筑波（一般）65.0／岡山67.5／広島65.0
83%	山形（一般）65.0／金沢65.0／名古屋市立65.0／京都府立医科67.5／熊本65.0

※河合塾Kei-Netより（2024年1月17日現在）

※地域枠等のボーダーライン設定がある場合には、（ ）内に区分を表記

※区分表記は「一般」「地域」「指定」で統一

(参考) 東京大学理科Ⅰ類88%/67.5
京都大学理学部84%/65.0

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
82%	山形（地域）65.0／筑波（地域）65.0／新潟65.0／滋賀医科（一般）65.0／鹿児島62.5
81%	札幌医科（一般・先進）62.5／秋田62.5／信州65.0／福井62.5／岐阜65.0 浜松医科（一般・地域）65.0／三重（一般・地域）65.0／滋賀医科（地域）65.0 和歌山県立医科（一般）62.5／鳥取（一般）62.5／徳島62.5／香川（一般）62.5 佐賀62.5／長崎65.0／宮崎62.5
80%	旭川医科62.5／弘前（一般）／福島県立医科（一般）62.5／群馬（一般）62.5 富山62.5／和歌山県立医科（地域）62.5／鳥取（地域）62.5／島根（一般）65.0 山口62.5／香川（地域）62.5／愛媛65.0／高知（一般）62.5／大分（一般）62.5／琉球62.5
79%	弘前（地域）／福島県立医科（地域）62.5／群馬（地域）62.5／島根（地域）65.0 高知（地域）62.5／大分（地域）62.5

※河合塾Kei-Netより（2024年1月17日現在）

※地域枠等のボーダーライン設定がある場合には、（ ）内に区分を表記

※区分表記は「一般」「地域」「指定」で統一

(参考) 東京大学理科Ⅰ類88%/67.5
京都大学理学部84%/65.0

国公立大学医学部 難易度 (一般選抜後期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
93%	東京医科歯科／名古屋
90%	千葉72.5
89%	奈良県立医科70.0
88%	浜松医科（一般・地域）／三重
87%	旭川医科65.0
86%	山形／山梨67.5／福井／山口（一般）／佐賀／宮崎67.5／鹿児島
85%	秋田（一般）／山口（地域）／琉球
83%	秋田（地域）

※河合塾Kei-Netより（2024年1月17日現在）

※地域枠等のボーダーライン設定がある場合には、（ ）内に区分を表記

※区分表記は「一般」「地域」「指定」で統一

(参考) 東京大学理科Ⅰ類88%/67.5
京都大学理学部84%/65.0

私立大学医学部 難易度 (一般選抜前期日程)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
72.5	慶應義塾
70.0	順天堂（A・B・地域）／東京慈恵会医科大学／日本医科大学（前期・地域前期）
67.5	東北医科大学（A・B）／自治医科大学／昭和（I期・地域）／東京医科大学／東邦 大阪医科大学（一般・地域）／関西医大／産業医科大学（B）
65.0	東北医科大学（一般）／国際医療福祉／杏林（一般・地域）／帝京（一般・地域） 東海／日本（N1・地域）／金沢医科大学（前期）／藤田医科大学（一般・地域） 近畿（一般・地域）／久留米（前期）
62.5	岩手医科大学（一般）／獨協医科大学（一般・地域）／埼玉医科大学／北里（一般・地域） 東京女子医科大学／聖マリアンナ医科大学／愛知医科大学／兵庫医科大学（A・B）／福岡
60.0	岩手医科大学（地域）／川崎医科大学（一般・地域）

※河合塾Kei-Netより（2024年1月17日現在）

※地域枠等のボーダーライン設定がある場合には、（ ）内に区分を表記

(参考) 慶應義塾大学理学部65.0
早稲田大学創造理学部65.0

私立大学医学部 難易度 (共通テスト利用)

得点率	河合塾ボーダーライン（合格可能性50%）
90%	順天堂（前期）
89%	順天堂（併用）
88%	国際医療福祉／帝京／東京医科／関西医科（前期）
87%	大阪医科薬科／関西医科（併用）
85%	日本医科（グローバル）／近畿（中期）
84%	藤田医科（前期）
83%	東北医科薬科／杏林／東海（一般）／産業医科（A）
82%	東海（地域）
81%	獨協医科（一般）
80%	愛知医科（前期）
78%	埼玉医科

※河合塾Kei-Netより（2024年1月17日現在）

医学部合格に必要な学力

●国公立大学

共通テスト

得点率**80%**以上

個別試験

偏差値**62.5**以上

●私立大学

一般選抜

偏差値**62.5**以上

共通テスト利用

得点率**80%**以上

国公立大学医学部 2023年度 現浪比

大学名	現役	1浪	2浪	3浪その他
旭川医科大学	B	61.1%		38.9%
北海道大学※1	B	61.1%		38.9%
弘前大学	B	61.6%	27.7%	10.7%
東北大学※2	B	71.3%		28.7%
秋田大学	B	54.0%		46.0%
山形大学		非公表		
筑波大学		非公表		
群馬大学	B	68.5%	25.0%	6.5%
千葉大学	A	66.7%		33.3%
東京大学		非公表		
東京医科歯科大学		非公表		
新潟大学	B	55.7%		44.3%
富山大学※3	B	38.7%	39.6%	21.7%
金沢大学		非公表		
福井大学		非公表		
山梨大学	B	53.6%	32.8%	6.4% 7.2%
信州大学	B	42.5%	35.8%	21.7%
岐阜大学		非公表		
浜松医科大学※4	B	66.4%		33.6%
名古屋大学		非公表		
三重大学	A	46.9%	35.2%	3.1% 14.8%
滋賀医科大学	B	49.5%		50.5%
京都大学※5	B	81.5%		18.5%
大阪大学※5	A	71.3%		28.7%
神戸大学	A	52.6%	29.8%	13.2% 4.4%
鳥取大学※5		非公表		
島根大学		非公表		
岡山大学※6	B	51.9%	36.8%	11.3%
広島大学	A	52.5%	33.3%	9.2% 5.0%
山口大学	A	57.3%	26.4%	16.4%
徳島大学	B	66.1%		33.9%
香川大学	B	41.3%		58.7%
愛媛大学		非公表		
高知大学	A	42.0%		58.0%

大学名	現役	1浪	2浪	3浪その他
九州大学	A	59.3%		40.7%
佐賀大学	B	60.2%	35.0%	4.9%
長崎大学	B	50.4%	33.0%	7.8% 8.7%
熊本大学	A	47.4%		52.6%
大分大学※1	A	38.8%	31.3%	17.9% 11.9%
宮崎大学	A	36.5%		63.5%
鹿児島大学※7	A	44.2%	38.1%	12.4% 5.3%
琉球大学	A	47.0%	33.9%	7.8% 11.3%
札幌医科大学	B	62.7%		37.3%
福島県立医科大学※8	B	57.7%		42.3%
横浜市立大学	A	68.8%		31.2%
名古屋市立大学		非公表		
京都府立医科大学	A	61.1%		38.9%
大阪公立大学		非公表		
奈良県立医科大学	B	59.3%		40.7%
和歌山県立医科大学	A	66.0%		34.0%

●表の見方

A : 総合格者

B : 入学者

※1 総合型選抜を除く。

※2 國際バカロレア選抜・私費外国人留学生選抜・帰国生選抜計1名を含む。

※3 帰国生選抜1名を含む。

※4 海外教育プログラム選抜2名を除く。

※5 学校推薦型選抜を除く。

※6 外国学校出身者その他3名を除く。

※7 國際バカロレア選抜2名を含む。

※8 海外教育プログラム選抜2名を含む。

私立大学医学部 2023年度 現浪比

大学名	現役	1浪	2浪	3浪その他
岩手医科大学	C	29.2%	25.4%	12.3%
東北医科薬科大学		非公表		
自治医科大学	C	48.8%	32.5%	16.3%
獨協医科大学	A	33.3%		66.7%
埼玉医科大学	C	40.0%	30.0%	17.7%
国際医療福祉大学	C	46.7%	33.6%	19.7%
杏林大学		非公表		
慶應義塾大学	D	81.5%	17.3%	1.2%
順天堂大学	A	63.5%	30.5%	3.5%
昭和大学	C	41.0%		59.0%
帝京大学		非公表		
東京医科大学	C	42.6%	33.6%	18.0%
東京慈恵会医科大学	C	54.3%	32.4%	6.7%
東京女子医科大学	C	50.9%	21.8%	13.6%
東邦大学	C	53.3%	30.3%	13.1%
日本大学	C	37.4%	29.0%	13.0%
日本医科大学	C	46.4%	44.0%	7.2%
北里大学	A	38.6%		61.4%
聖マリアンナ医科大学	C	36.5%	28.7%	18.3%
東海大学	A	31.0%	29.0%	22.0%
金沢医科大学	C	13.5%	29.7%	21.6%
愛知医科大学	C		67.2%	
藤田医科大学	C	30.8%	30.8%	15.0%
大阪医科大学	C	36.6%	28.6%	15.2%
関西医科技大学	C	37.8%		62.2%
近畿大学	C	21.6%		78.4%
兵庫医科大学	A	32.6%		67.4%
川崎医科大学	C	25.4%	20.6%	20.6%
久留米大学	B	15.4%	36.9%	28.5%
産業医科大学	C	30.5%	40.0%	16.2%
福岡大学	B	19.3%		80.7%

●表の見方

- A: 総合格者
- B: 正規合格者
- C: 入学者
- D: 入学許可者

※獨協医科大学の現既比は学校推薦型選抜、総合型選抜を除く。

※国際医療福祉大学の現既比は留学生特別選抜を除く。

※東邦大学の地元占有率の地元は、出身校所在地。

※北里大学の現既比は一般選抜のみ。

※東海大学は一般選抜のみ。

※愛知医科大学の地元占有率は国際バカロレア選抜を除く。

※近畿大学は付属高校推薦を含む。

※川崎医科大学は付属高校からの推薦入学を含む。

※久留米大学は地元占有率を除き、一般選抜前期のみ。

※福岡大学は一般選抜、共通テスト利用のみ。

現浪比率は平均で、
国公立大学 現：浪 ≒ 5 : 5
私立大学 現：浪 ≒ 3 : 7

と言われている。

また、上位難関大学ほど、全国のトップ進学校の受験生が合格を勝ち取って進学するため、現役比率が高い傾向がある。

国公立大学医学部 標準的な入試科目

入試区分	共通テスト	個別試験
一般選抜（前期日程）		3教科4科目 + 面接
一般選抜（後期日程）	6教科8科目1000点満点	小論文 + 面接
学校推薦型選抜	※学校推薦型・総合型選抜の一部大学を除く	※小論文は英語や数学、理科の知識を問うものもある ※「適性検査」「総合問題」として学科試験や小論文試験を課す大学もある
総合型選抜		

【共通テスト6教科8科目】

英語リーディング100点／英語リスニング100点／数学ⅠA100点／数学ⅡBC100点／理科2科目各100点／国語200点
／地歴公民100点／情報Ⅰ100点

【個別試験3教科4科目】

英語／数学ⅠAⅡBⅢC／理科2科目（物理基礎・物理／化学基礎・化学／生物基礎・生物）

私立大学医学部 標準的な入試科目

入試区分	1次試験	2次試験
一般選抜	3教科4科目	小論文 + 面接
学校推薦型選抜	英数理または英数 + 小論文 + 面接	
総合型選抜	※学科試験は「基礎学力検査」や「適性試験」などの名称で実施される大学もある	
共通テスト利用	3-5型／5-7型など	小論文 + 面接

【個別試験3教科4科目】

英語／数学ⅠAⅡBⅢC／理科2科目（物理基礎・物理／化学基礎・化学／生物基礎・生物）

【共通テスト利用】

3-5型：英語、数学、理科2科目

5-7型：英語、数学、理科2科目、国語、地歴公民

※「情報Ⅰ」を課すかどうかは今後の情報有待つ必要あり

国公立大学医学部 様々な入試区分

2024年度入試（全50大学）

入試区分・選抜枠	実施大学数	備考
一般選抜 前期日程	49大学	山梨大学以外の全ての国公立大学
一般選抜 後期日程	16大学	山梨大学は後期日程のみ
学校推薦型選抜	44大学	
総合型選抜	15大学	
地域枠	44大学	学校推薦型選抜／一般選抜

私立大学医学部 様々な入試区分

2024年度入試（全31大学）

入試区分・選抜枠	実施大学数	備考
一般選抜 前期	31大学	全大学で実施
一般選抜 後期	12大学	
共通テスト利用（併用含む）	17大学	
学校推薦型選抜	17大学	指定校推薦・内部推薦等除く
総合型選抜	12大学	
地域枠	27大学	学校推薦型選抜／一般選抜

学校推薦型・総合型選抜 出願基準

①入試区分

※地域枠における出身校・居住地などの制限

②現浪

※卒業年度（年齢）による制限

③評定平均

※現役生は高1～高3一学期までの平均

④専願

※ごく一部を除き専願（他大学との併願不可）

⑤推薦可能人数

※1高校から推薦できる人数の制限

学校推薦型・総合型選抜 出願決定ポイント

○良い点

- ①受験機会が増える
- ②早く合格が決定する
- ③受験できる年齢が限られる
- ④試験科目が軽減される
- ⑤志願者倍率が低くなる

△注意点

- ①一部を除き専願制である
- ②受験資格に評定を含む
- ③入試時期が早い
- ④受験準備の負担が大きい
- ⑤メンタル面の配慮が必要

3. 医学部現役合格に向けての学習

高卒生との大きな違い ~使える時間~

高卒生

時期
学習時間／日
トータル

現役時代
?

一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）
10時間／日			
2730時間			

現役生

高1

時期
学習時間／日
トータル

一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）	三学期（約11週）
3時間／日				
1050時間				

高2

時期	春休み（2週）	一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）	三学期（約11週）
学習時間／日	6時間／日	3時間／日	6時間／日	3時間／日	6時間／日	3時間／日
トータル	84時間	315時間	252時間	336時間	84時間	231時間
1302時間						

高3

時期	春休み（2週）	一学期（約15週）	夏休み（約6週）	二学期（約16週）	冬休み（約2週）
学習時間／日	8時間／日	5時間／日	10時間／日	5時間／日	10時間／日
トータル	112時間	525時間	420時間	560時間	140時間
1757時間					

高校3年間で計画的に一步一步着実にレベルアップ

基礎力
用語理解・定着
解法理解・定着



応用力
思考力
判断力
表現力



実践力
受験校対策
過去問演習

基礎学力養成期



理想は高校2年生を終えるまで

未履修範囲については、高校3年生の夏が終わるまでに

- ◆履修済み単元の基礎～標準レベルを、未習得のまま放置しない
⇒長期休暇（夏・冬・春休み）を活用しよう！
- ◆忘れてしまったときに、復習できる材料を作つておく

基礎学力を養う教材

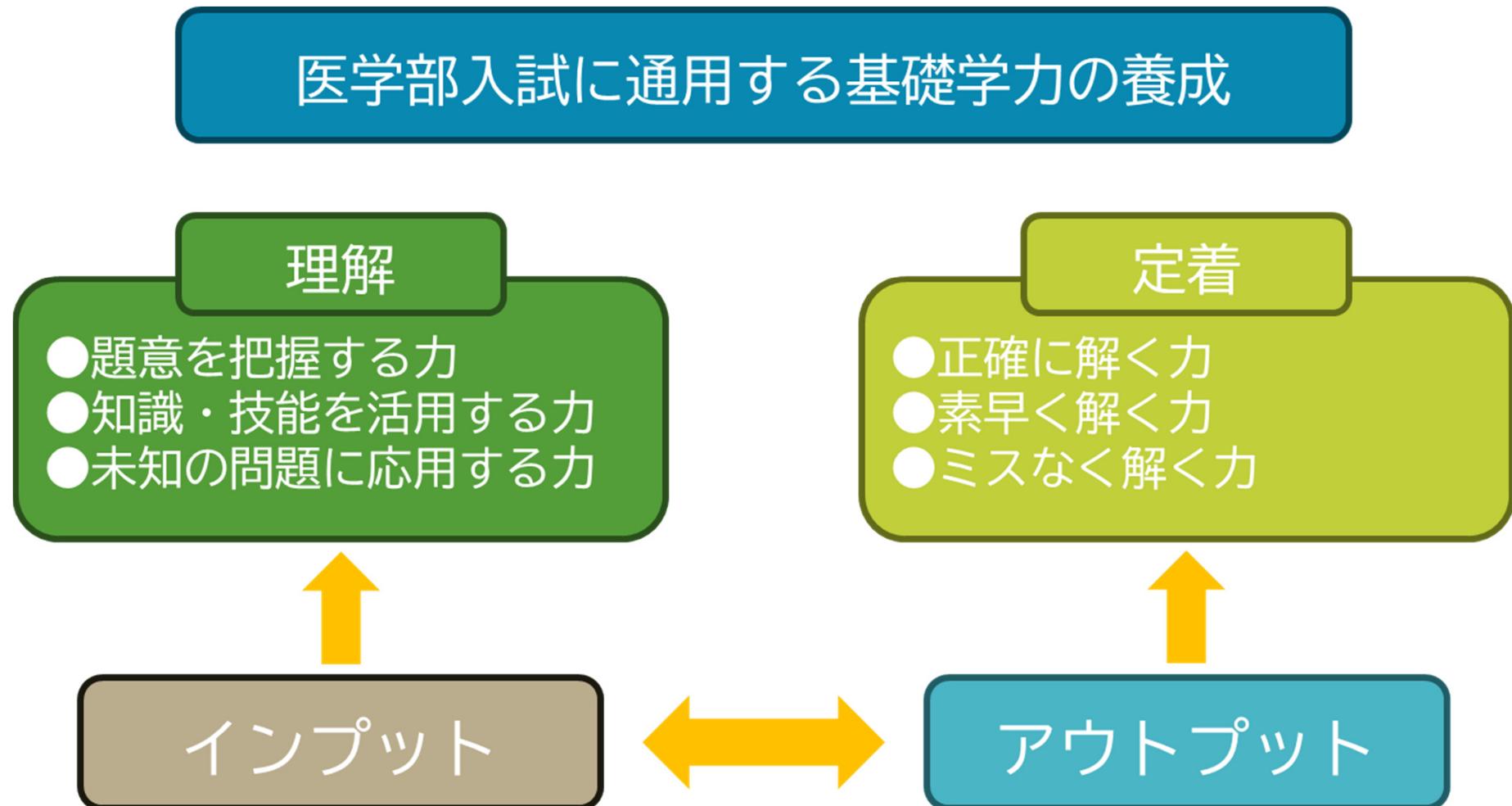
一般的に「基礎」～「標準」とされる問題が対象

- ◆ 「網羅系」の問題集を使用する
- ◆ むやみに難しい問題集に手を出す必要はない



数研出版HP (<https://www.chart.co.jp/goods/item/sugaku/level/level2.html#chart>) より

基礎学力養成のポイント



学習のPDCAサイクル



- (P) 無理のない学習計画、少し余裕のある学習計画
長期計画、中期計画、短期計画、目標の設定
- (D) 確実に実践、隙間時間の活用、意識的なアウトプット
- (C) テスト形式のアウトプットによる定着確認
- (A) 未定着の原因分析、克服のための学習計画



定期試験や模試を目標に学習計画を立てて、
PDCAを実践しましょう！

実践できる学習計画の立て方

	月	火	水	木	金	土	日
6:30			起床				
8:30						起床	
			学校				
15:30							
17:00			宿題など				
18:00				夕食			
19:00	英語	英語	英語	英語	英語	化学 生物	次週 計画 など
20:00	数学	数学	数学	数学	数学		
21:00	化学	生物	化学	生物	化学		
22:00	やり残し・復習など						
23:00	入浴・翌日準備など						
24:00	就寝						

応用力養成期



履修済みの範囲は高校3年生から応用力を意識

未履修範囲については、高校3年生の夏以降から

- ◆得意科目・得意単元は高1・2段階から応用まで仕上げておく
- ◆基礎が固まっていないのに応用に手を出さない
- ◆受験校の出題傾向を意識した問題集選定

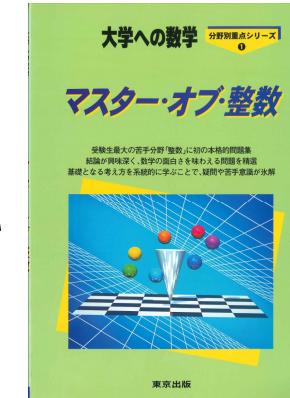
応用力を養う教材

受験校の問題形式や問題難易度に合わせた問題集選定

- ◆ 英語で下線部誤り指摘問題が必ず出題される
→ 下線部誤り指摘問題に特化した問題集



- ◆ 数学で必ず整数問題が出題され、難易度も高い
→ 整数問題に特化した問題集



- ◆ 物理で標準・典型問題を中心に出題される
→ 標準レベルの問題集でミスなく解き切る練習



応用力養成のポイント

医学部入試に通用する応用力の養成

応用力=基礎（語彙、文法、構文、用語、計算、定理、公式、典型問題の解法など）を組み合わせて、初見（に見える）問題を分析して解答する力

- ◆思考力=試行力を養う時間の確保
- ◆設問を正しく理解し、条件等を整理する
- ◆具体化↔抽象化／分解↔統合
- ◆視覚化（表、グラフ、描図）
- ◆別解・周辺知識の獲得

実践力養成期

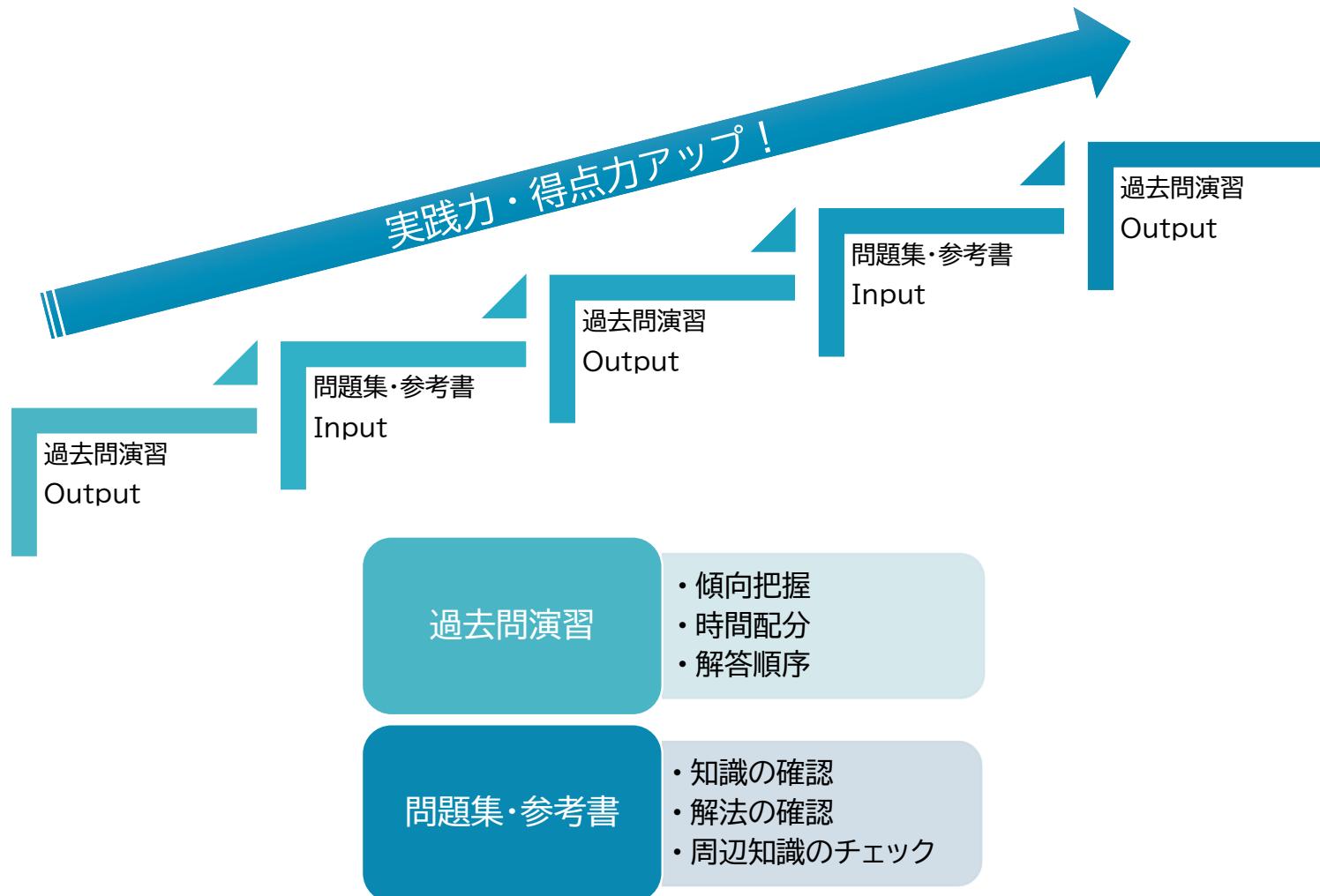


過去問を用いた本格的な実践力養成は冬以降から

高1・2時点から実践力を高める意識を持って定期試験に臨む

- ◆ 解答時間内に得点を最大化させる練習
- ◆ 習得した知識や解法の最後のメンテナンス
- ◆ 「ケアレスミス」を言い訳にしない

過去問を用いた実践力養成



過去問演習のポイント

過去問演習を通して全範囲の知識・技能を総復習！

- ◆ 「過去」問は自分が受験する入試では出題されない
- ◆ 過去問演習を通して、受験校の問題傾向・難易度を把握
- ◆ 時間配分、解答順序、捨て問の見極めなどの実践力を養成
- ◆ 解いた以上の時間をかけて解答解説を確認
- ◆ 使い慣れた問題集に戻って知識・技能のメンテナンス
- ◆ 周辺知識や別解も積極的に習得

高校1・2年生の過ごし方

- (入試科目について)高校の進度に合わせ、基礎～標準レベルを確実に習得することに主眼を置いた学習を
- 定期試験や模擬試験の結果に一喜一憂せず、自分自身の理解度・定着度を測るチャンスとして活用 ⇒ 学習のPDCAサイクル
- 長期休暇は積み残しを克服する絶好のチャンス！
- 苦手科目は易しめの参考書・問題集を使用する勇気を
- 得意科目、得意分野は応用・発展レベルまで一気に習得
- 自分の進路を具体化するために様々な行事に積極的に参加
- 小論文や面接に備え、ニュースをチェックし、意見形成を習慣化
- 高2修了段階で、履修済み範囲の基礎～標準レベルは仕上がっている状態に

高校1年生が気をつけるべきこと

- 中学の時と違い、教科内の科目が細分化され、教科書も分厚くなり、1回の定期試験の範囲が非常に広くなるため、計画的な学習が必要
- 定期試験前の詰め込み学習、丸暗記学習は「忘れやすい」「応用が利かない」などのデメリットがある。日常的な学習習慣を身につけることが大切
- 苦手な科目や単元を作らない。基礎～標準レベルまでは履修時に理解と定着を図る
- 2年次から文系・理系に分かれ、科目の選択が必要な場合は、入試科目として理科の選択、地歴公民の選択を考えておく
- 学校推薦型・総合型選抜を視野に入れる場合は、評定を高い水準でキープただし、向き不向きがあるので、評定キープが難しい人は割り切って一般選抜を

高校2年生が気をつけるべきこと

- 部活動、習い事などが理由で学習時間が確保できず、思うような成績が取れていない場合は、辞める時期などを真剣に検討
- 苦手な科目や単元が出てきた場合、春休み、夏休み、冬休みなどの長期休暇中に、少なくとも基礎レベルまでは克服しておく
- 国公立専願、私立専願、国私併願や学校推薦型・総合型選抜利用、地域枠活用など受験の方向性を少しずつ具体的に検討
- 高3になるとオープンキャンパスに足を運ぶ時間が取れなくなってくるので、興味のある大学のオープンキャンパスは高2のうちに参加
- 遅くとも高2の三学期からは「受験生」に！それまでに必ず日々の学習習慣を身につけておこう

高校3年生の過ごし方

【4月】

- 受験予定のある大学の過去問(赤本)で、出題傾向などを確認
- 自分に必要な入試科目および範囲をはっきりさせる

【一学期】

- (入試科目の)未履修範囲について、高校の進度に合わせ、基礎～標準レベルを確実に習得することに主眼を置いた学習を
- (入試科目の)既習範囲については、入試を意識した復習をスタート
- 既習範囲については、問題集のレベルを上げて応用力を養成
- 総合型・学校推薦型選抜を利用する意思がある場合は、必ず高校の先生に相談を

高校3年生の過ごし方

【夏休み】

- 受験予定のある大学の過去問を一年分、時間を測って演習
- 合格点に到達するために不足している課題を科目ごとに洗い出し
- 課題に沿った学習計画を立てて実践
- 週単位で学習計画を見直し、効率よくPDCAサイクルを回す
- 総合型・学校推薦型選抜を利用する意思がある場合は、情報収集も兼ねてオープンキャンパスに参加
- 志望動機書の提出や面接が必要な大学を受験する予定がある場合は、志望動機の素案を書き上げる(2,000字程度)
- 数学や理科など未履修範囲を残している場合は、少なくとも基礎だけでも夏休み中に触れておく

高校3年生の過ごし方

【二学期】

- 大学入学共通テストが必要な場合は、高校を通して出願
- 時間を測って実践的な問題演習
- 大学個別試験を意識した二次力の養成(基礎～標準+応用・発展)
- (自分の入試に必要な)未履修範囲の学習計画
- 週単位の学習PDCAサイクルを継続
- 月1回、過去問(または模試など)を解いて学習成果を確認
- 過去問ばかりの学習はNG(アウトプットしたら不足分をインプット)
- 12月に入ったら出願準備

高校3年生の過ごし方

【冬休み】

- 国公立大学志望者は共通テスト対策の学習比重を高める
- 私立大学志望者(共通テスト利用除く)は過去問演習の比重を高める
- 過去問など時間を測って実践的な演習
- 時間配分、解答順序、捨て問など1点でも多く得点する工夫を
- 合格をつかむための本当の学習は、問題演習後のケア
- 使い慣れた教科書、問題集、参考書、ノートに戻って復習を

【1月】

- 大学入学共通テスト本番
- 私立大学一般選抜本番スタート

高校3年生の過ごし方

【2月】

- 国公立大学一般選抜前期日程
- 私立大学一般選抜前期日程 ⇒ 後期日程スタート

【3月】

- 国公立大学一般選抜後期日程
- 私立大学一般選抜後期日程

現役生は一般選抜が始まってからの期間でも、まだまだ伸びしろがあります！合格が決まるその時まで、普段通りの学習を継続しましょう！

4. 志望理由・面接・小論文の準備

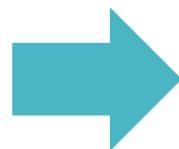
志望理由・面接・小論文の重要性

医学部医学科への進学 ≒ 将来、臨床医、研究医になる
すなわち、

医学部医学科入試 ≒ プレ就職試験



- ◇志望理由書などの事前提出書類
- ◇小論文試験
- ◇面接試験



【評価項目】

- ☆医師になりたいという意欲・自覚
- ☆医師としての将来の展望
- ☆本学志望の理由
- ☆医師としての適性・資質
- ☆コミュニケーション能力・協調性
- ☆主体性・協働性・多様性
- ☆思考力・判断力・表現力
- など

志望理由・面接・小論文を意識した高校生活

①高校生活の充実（勉強・部活動・生徒会活動など）

②校外活動

オープンキャンパス

外部検定試験（英検・GTEC・漢検など）

ボランティア活動

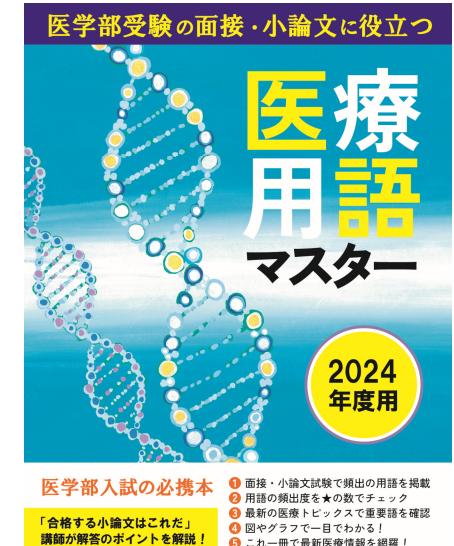
医療機関のセミナー

海外留学・国内留学（山村留学・離島留学など）

数学オリンピック

③医療関連のニュースに关心をもつ

④医療関係の書籍を読んだり、ドラマや映画を見たりする



医学部入試の必携本

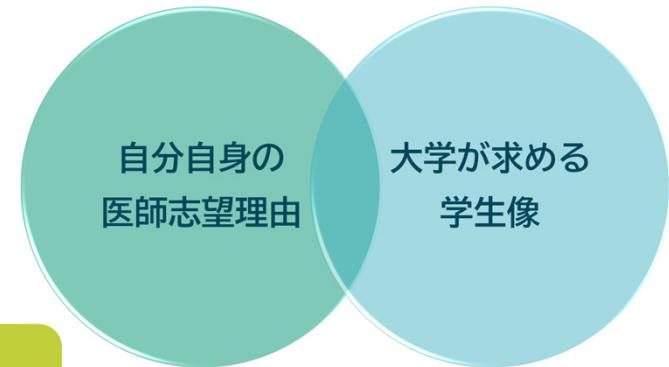
「合格する小論文はこれだ」
講師が解説のポイントを解説！

株式会社 医系専門予備校
メディカルラボ。

時事通信社

志望理由は自分と大学との共通点探し

各項目で考えた内容を基にして、理由や具体例、エピソードなども交えながら、原稿用紙5枚分（2000字）の志望理由をまとめてみましょう。



アドミッションポリシーを理解

- 大学で求められている医師としての適性・資質とは？

医師志望理由を考える・将来像を明確にする

- どんな医師になりたいのか？
- そのためにどんな努力が必要なのか？

医療と社会との関係を考える

- 医師として社会にどう貢献したいのか？

アドミッションポリシーの一例

産業医科大学

<https://www.uoeh-u.ac.jp/University/College/admissionp.html> より抜粋

- 1 産業医として活躍したいという明確な目的意識を持っている。
- 2 臨床医学のみならず**予防医学や健康増進**にも深い関心を持っている。
- 3 医師として生涯にわたり自ら物事の本質を考え、探究する意欲を持っている。
- 4 幅広く医学の知識を修得し、発展・応用することができる能力を有している。
- 5 豊かな人間性と高い倫理観を備え、他者との協調性やコミュニケーション能力を有している。

国際医療福祉大学

<https://www.iuhw.ac.jp/about/policy/admission/index.html> より抜粋

1. 本学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志をもつ者であること
2. 優れた学業実績や**英語能力**を有し、将来、**国際性**を身につけ、**国内外の医療需要**に応じて、**母国および国際社会**における保健、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志をもつ者であること
3. 自ら積極的に学ぶ意欲をもち、保健、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化、及び**国際化**に対応するための努力を継続できる者であること
4. 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける者であること
5. **あらゆる人に対して**自らの心を開き、コミュニケーションをとれる者であること

面接の種類

●個人面接

受験生1名に対し、面接官2名以上で行う面接



●集団面接（グループ面接）

複数名の受験生に対し、面接官2名以上で行う面接



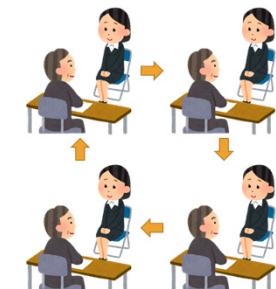
●集団討論（グループ討論）

複数名の受験生が与えられたテーマについて
討論する様子を面接官が採点する面接



● Multiple Mini Interview (MMI方式)

短時間の面接を複数の課題について複数回行う面接



面接の出題事例 横浜市立大学（学校推薦型選抜）

MMI／10分×5回

- テーマ① 社会性
- テーマ② 志望理由
- テーマ③ 協調性
- テーマ④ 独創性
- テーマ⑤ 倫理性

- 相手に改善してほしいことがある時にどう伝えるか
- 医師を志望する理由
- 在学中に習得したいこと
- 4人グループでレポートを作成する際に、リーダーとしてどう振る舞うか
- 10万年後の生命体を想像して説明
- 西日本に第二富士山をつくる意義、問題点、場所、資金など
- 余命わずかな認知症の老人をどう治療するか
- 親友の試験でのカンニングを目撃した際の対応

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

©Medical Lab

面接の出題事例 東京慈恵会医科大学（一般選抜）

MMI方式／7分×6回

2024年度

問題配布後に、1～2分間、文章を読んだり考えたりする時間が与えられる。
7分経過すると、次の部屋に移動する。

- 志望理由などの一般的な面接
- 47都道府県別と年齢別の平均食事時間のグラフを見て、そこから分かる事実と分析を述べる。
- 幸田文の『父 その死』の一節を朗読後、登場人物の心情を答える。
- あなたは運動部のキャプテンでリーグ優勝決定戦を控えている。チームの主力選手2人が次の大会に出場できないと言っている。このことに対する5つの対応の選択肢が与えられる。優先順位をつけ、理由を説明する。
- あなたは医師です。小さな病院に勤務しており、警備員はいません。あなたの当直中に、元アスリートの患者が果物ナイフを振り回し暴れている。あなたはどう対応しますか。
- 折り紙の本で折り方を確認しながら、折り紙を折る。

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

©Medical Lab

小論文の種類

●課題文型

与えられた課題文を読んで論述する。最も出題の多い形式。

課題文の論旨を理解することが重要。課題文が英文で与えられ、英語の試験に近い形式のものもある。

●テーマ型

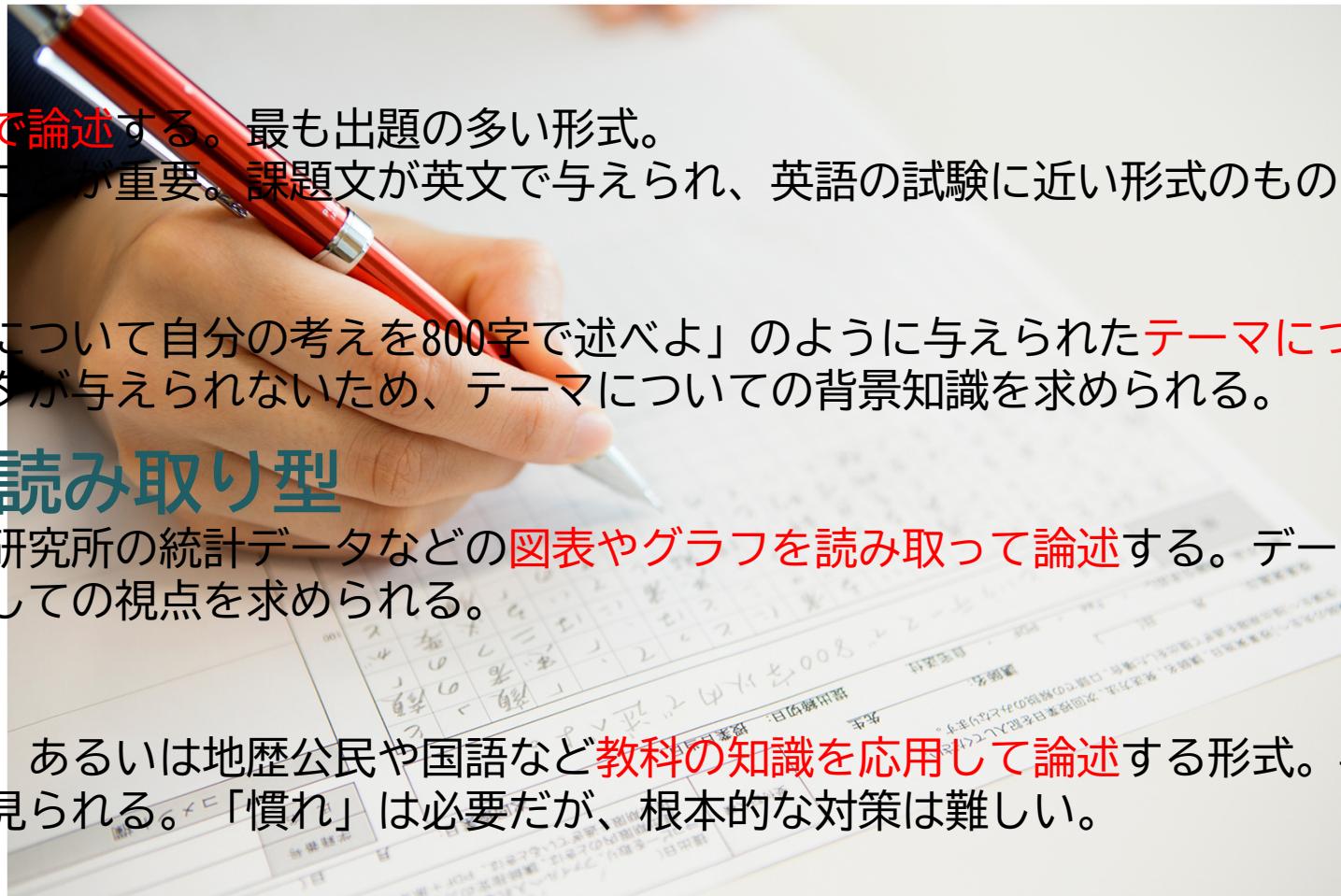
「再生医療の課題と展望について自分の考えを800字で述べよ」のように与えられたテーマについて論述する。他に文章やデータが与えられないため、テーマについての背景知識を求められる。

●図表・グラフ読み取り型

厚生労働省の白書、国立研究所の統計データなどの図表やグラフを読み取って論述する。データを客観的に分析する科学者としての視点を求められる。

●教科型

数学や物理、化学、生物、あるいは地歴公民や国語など教科の知識を応用して論述する形式。学校推薦型・総合型選抜などで見られる。「慣れ」は必要だが、根本的な対策は難しい。



小論文の出題事例 横浜市立大学（一般選抜）

テーマ型／60分／1000字以内

2023年度

皆さんはこれまでの人生の様々な年代、局面で、様々な人から叱られ、また様々な人を叱ってきたと思います。「叱る」という言葉には「指導」になにがしかの「怒り」が含まれているように感じられます。「指導」において「怒り」はなぜ生じるのかを説明し、「怒り」の要素の功罪について1000字以内で論じなさい。

2022年度

我が国では、高齢医師が多く活躍しています。一方、海外では高齢医師が認知症のために不適切な診療を行い、患者を致命的な結果に至らせた事例が報告されています。この点を踏まえて、医師のキャリアについてあなたの考えを1000字以内で記載してください。

2021年度

「自分の限界を把握し周囲に助けを求める能力」が欠如した医師は、どのような問題を起こすでしょうか。1000字以内であなたの考えをまとめてください。

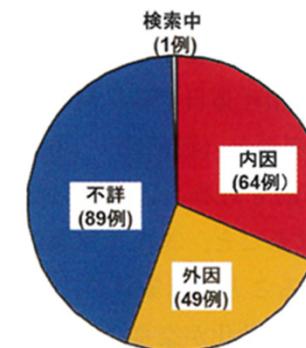
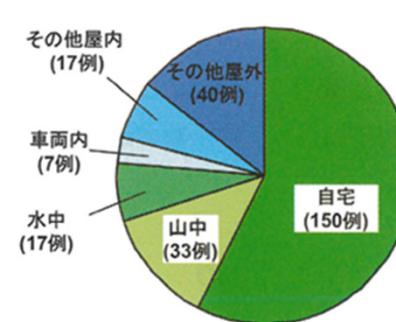
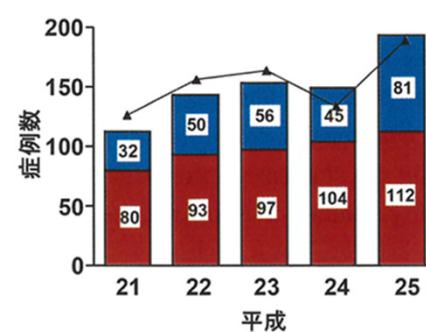
小論文の出題事例 奈良県立医科大学（一般選抜前期日程）

課題文型・図表・グラフ読み取り型／120分／1600字以内

2024年度

大問1 医師が書いた文章を読み、医師に求められる人間力について800字内で述べる。
『いのちの器』（日野原重明 主婦の友社 1985）

大問2 ①奈良県内の法医解剖症例数の年次棒グラフ、②そのうち身元不明死体の発見場所の割合を示す円グラフ、③身元不明死体者の死因の割合を示す円グラフ
①のグラフから年次推移は増加傾向にあるが、その背景および減少させるための対策について、
②、③を参考にして800字内で述べる。



奈良県立医科大学法医学教室「過去5年間の奈良県内における身元不明死体解剖事例の統計的考察」より抜粋引用
<http://ginmu.naramed-u.ac.jp/dspace/bitstream/10564/2776/1/09-15p.過去5年間の奈良県内における身元不明死体解剖事例の統計的考察.pdf>

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

小論文の出題事例 順天堂大学（一般選抜）

特殊型／70分／800字以内

2024年度

「人種統合教育」というタイトルの写真。1976年に米国で撮影されたもの。当時、米国では人種差別を撤廃するため、公立小学校の黒人と白人の比率を平均化する政策がとられていた。現在、日本でも多様性が推進されている。写真の2人の子供が私たちに伝えようとしているメッセージを書く。

2024年度

知覧基地。特攻直前、特攻機の前に並ぶ若者たちの写真。若者の一人になって家族への手紙を書く。

2022年度

2億5千万年後に形成されると予測されているパンゲア・プロキシマ大陸の地図。そこにどんな世界が広がっているかを想像して書く。

メディカルラボ「受験振り返りシート」より

©Medical Lab

志望理由・面接・小論文の準備

- 志望理由・将来像は低学年のうちから考えておく
- 小論文は課題文型小論文から練習
- 面接は個人面接から練習
- 必ず第三者に見てもらってフィードバックを受ける
- 慣れてきたら受験校の形式に合わせた練習を



医学部合格者からのメッセージ

医学部に合格するために大切なこと

- ① 理想の将来を考えること
- ② 基礎を徹底的に固めること
- ③ 絶対にあきらめないこと
- ④ 自分に合った学習環境の選択

医系専門予備校メディカルラボからのメッセージ

生徒一人の
合格のために組まれた
たったひとつの
オーダーメイドチーム。

メディカルラボの「個別指導」は、
生徒一人ひとりをあらゆる角度から捉えたプロ講師陣が、
専門スキルを持った合格マネージャーを中心に
ワンチームで、オーダーメイドの合格プランを構築します。
だから、合格までのあらゆる課題をまるごとサポートできる。
生徒の強み、弱みと向き合いながら、応えていける。
必要なカリキュラムを確実にやり遂げられる。
メディカルラボの個別指導は「一人」に対する「チーム」の総力で、
医学部合格を実現します。



医系専門予備校メディカルラボからのご案内

メディカルラボ

学校説明会実施中

各校舎で / オンラインで / お電話で



©Medical Lab

GW

4/20(土)
～5/6(月・祝)

無料体験入学

お申込受付中

詳細・お申し込みはこちら▶



©Medical Lab



私立医学部模試

医学部合格の
最短距離が
解る模試。

— 2024年度 第1回 試験日 —

6/9(日) 16(日) 23(日)

全国25会場

自宅受験可能

詳細・お申込みはこちら ➤➤➤



©Medical Lab

LINE 友だち 募集中

*「株式会社東京商エリサーチ」調べ

医系専門予備校合格者数No.1*の情報をあなたに。

医学部最新受験情報を配信中！



大学の入試変更点
オープンキャンパス情報など
入試情報をお届け



メディカルラボ主催
医学部受験役立つ
イベントを随時ご案内

友だち追加
はこちら





医学部現役合格ガイダンス

(本資料について)

本資料の著作権は、出典が明記されているものを除き、原則として医系専門予備校メディカルラボに帰属します。
本資料の一部または全部を無断で複写、複製、引用、転載等を行うことを禁止します。